

まつお新聞

発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

惜しまれながらの ラストステージ



芸能発表会に長年出演してきた八幡町区の『はとみね座』が、今回をもって解散する。移り変わる時代背景を取りこみ演じてきた「水戸黄門漫遊記」。高齢化が解散の理由というが、芸能発表会の目玉となってきただけに、その存続を願う声も少なくない。

松尾に生きる

平成十八番会

平成18年に松尾連合壮年会で活動した11人のメンバーが、壮年会としての活動が

終わった後も、会を継続し交流を深めたい、との理由から結成した。会の名前もその年に因み平成十八番会とした。

まず平成19年に清水区内の遊休農地を利用して、「どろんこバレーボール大会」を計画。JA職員、松尾商工会、地区内企業などに参加を呼びかけた。

当日は残念ながら雨天中止となったが、親睦会は予定通り行われ、地域の人々活動を行っている。



後ろの案山子大丈夫か？

この他にも運動会種目とびつくらでのパフォーマンスを始め、地域が活性するためのヒントとなることを発信すべく、活動を行っている。



勇壮にパレードが行われる

この交流の場となった。平成20年以降は、その農地を活用し、食の自給自足を考えることをテーマに、米作りを中心とした農作業を行っている。

種は「農林22号」。藁の丈が長いので、藁細工や注連縄用としても用いられており、最近では地域の年末行事にも使われている。昨年はこの藁を常盤台区に提供。鳩ヶ嶺八幡宮の奉納注連縄の材料として活用された。

JAの広報誌に活動が紹介されたこともある。仲間もなく10年を迎える。会員の年齢が近いこともあり、今後話が合う楽しい仲間として、元気が出るような交流を続けたいと考えているようだ。

このような分団は飯田市内には他になく、先輩方の大変な努力と、地域の皆さんの支えがあり存続していることを忘れないようにし、消防団活動に励んでほしい」と話した。

今年の出初め式には初めて松尾少年・少女消防クラブ員19人も参加。その後市内パレードにも出場した。今年の出初め式には初めて松尾少年・少女消防クラブ員19人も参加。その後市内パレードにも出場した。

平成28年1月10日、成人式が行われ、私たちは無事成人の仲間入りを果たすことができました。この日を迎えることができたのも様々な人の支えがあったからこそです。祝賀会では中学時代の友人、恩師と近況や今後について話をし、とても有意義な時間を過ごすことができました。私にとつ

てこの日はふるさとでの良き、社会人としての自覚を持つ大切さを再認識する日となりました。

私は地域の人の身近に立ち、生まれ育ったこのまちのために働きたいという思いから地元で就職しました。まだまだ未熟な面が多く、成人したとはいえ、日々学ぶことばかりです。これから何度も挫折することがあると思います。しかし、地元のために働きたいという初心を忘れず、何事にも前向きに取り組んでいきたいと思えます。そして、今まで支えてくださった方々に少しでも恩返しができるよう、また地域に小さなことからも貢献できるように努力していきます。



成人式を迎えて
成人式実行委員
吉川真由(下巻区)



209人が成人式を迎えた

松尾の人口
男子 6,186人
女子 6,876人
計 13,062人
世帯数 4,916世帯
2月末現在

松風
私が20年ほど前、臨時教員をしていたときの話である。生活科の「小さかったときの自分」の学習の中で、小さいときの思い出の品物を持つてくるように私が言う、一人の男の子が、『ジャックと豆の木』の絵本を持ってきた。とても大切にしているとは思えないほどポロポロの絵本で、まわりの子供たちも不思議がった。私がどうしてなのか聞いても「好きだから」と答えるのみ。▼気になった私は、母親に電話をしてみた。母親は「小さい頃、病気がなったときに買ってあげたものです。とても気に入って、熱が下がるとせがまれた本です。今でも病気がなったときや一人で留守番するときなどに、必ず本棚から引っぱり出してきて読んでいます。病気が熱が出たときには、必ず抱いて寝ています。それでポロポロなんです」▼母親が、あまりにもポロポロなので新しい絵本を買ってあげたが、それには全く興味がないとのことであった▼子供たちが多くの本に出会うことはもちろん大切である。人生の中で、ずっと抱きしめていた一冊に出会えた人は幸せであると思う。

イベント盛りだくさん

松尾地区文化祭 大盛況!!

2月6・7日に松尾地区文化祭が開催された。今年初めての趣向として緑ヶ丘中学校吹奏楽部の演奏で開幕。さまざまな企画が目白押し、活気ある文化祭となった。

分館や各団体の展示にはバラエティに富んだ作品が並び、初日の骨密度測定では順番待ちの列ができていた。2日目、飯田OIDE長姫高校テックレシジャーショーには子供も大喜び。チャイルドシート無償提供は受付の午後1時開始を待って10時から並ぶ人も。おしるこやポップコーンの無料配布もあり、ロビーから人が溢れる程の盛況ぶりであった。午後からの芸能発表会は、玄人はだしの熱演に会場が大いに沸いた。また、広報委員会企画のクイズラリーにも多くの人が参加した。



オープニングを飾る圧巻の演奏



骨粗鬆症 大丈夫？



会場は花の香りに満ちて…



これはお父さんだよ



興味津々



おしるこを振る舞う中学生



乗り心地は…満点



ちびっ子には風船のサービス



プラカップがベッタンコ



「まつお新聞」未公開写真の展示が大好評

飯田地域からプロ野球選手を！

飯田地域の人は引込み思案なので、プロの選手はなかなか出ない。素質のある人は結構いるが、監督が嫌いになった



鈴木純球氏講演会

30年務めた。その経験から「飯田地域の人は引込み思案なので、プロの選手はなかなか出ない。素質のある人は結構いるが、監督が嫌いになった」

松尾地区文化祭初日、公民館ホールで元西武ライオンズスカウトの鈴木純球さんが「プロ野球のスカウト活動から見たもの」という演題で、熊谷史花文化委員長との対談形式の講演を行った。

最後に、鈴木さんは「誰か飯田地域に私学をつくってもらえませんか。野球部のある私学が出来れば、環境も変わり教育面も良くなり、プロ野球選手になる人も出る」と熱く語った。

松尾のまつおを聞いてみた

今年度の松尾地区文化祭で行われた広報委員会企画のクイズラリーに、約240人の区民の参加があった。今回この中で「まつおのいいところ」を記入してもらった。

- 空気がおいしい
- 暖かくて住みやすい
- 史跡が多い
- 古墳がある
- 歩いて史跡巡りができる
- 人がいいみんなやさしい
- イベントが多くある
- イベントに参加する人が多い
- 雪が少なく暖かい
- 育成会がしっかりしている
- 緑ヶ丘中学校が部活でいい成績を収めている
- 山がきれいに見える
- 川がきれい
- 図書館に本がたくさんある
- 公園がきれい
- 行事があり楽しく参加できる
- 地区のつながりがある
- みんなが協力的
- 子供たちが元気
- 地域のまとまりがある
- 災害の心配がない
- グループ活動が盛ん
- 文化展がすばらしい
- 展示品がすばらしい
- 小学校にオオサンショウウオの標本がある
- 交通の便が良い
- 道が平らなところ
- 自然が豊か
- 飯田の中心にあつて便利
- 公民館活動が盛ん
- 働くところがたくさんある
- 散歩しているとみんなが話しかけてくれる
- 道が整備されている
- 夏祭りが盛ん
- ふるさと
- 農業体験できる
- 神社がある
- 紅葉がきれい
- 松尾城址
- 運動会
- 文化祭
- 公民館
- 団結力がある
- ほっ湯アップルがある
- 事故が少ない
- スポーツが盛ん
- 活気がある
- 区や公民館の企画が豊富
- 交通・買い物・病院が便利
- 年寄りを大事にしている
- 人口が多い
- 文化祭や運動会の運営に中学生が携わっている
- 八幡様
- 水がきれい
- 清水がたくさんある
- JR駅が2つある
- 若い人の人口が多い
- 大きい声であいさつしているところ
- 松尾時間（定刻より早く来る）で先に盛り上がる
- 大人も子供も熱い
- 空手をする施設が無償で提供してもらえる
- 八幡様のお祭りが盛り上がる
- 学校に土俵がある
- たくさんの方の回答ありがとうございました。

1年間の集大成！ 芸能発表会



代田ギタークラブ(SCG)「霧のカレリア、青春時代」



ピリラニ飯田教室のハワイアンダンス



松尾小学校合唱団「青い竜、U&I」



スタジオマウナレイのハワイアンフラ



和太鼓倶楽部ウッホッホ



ハトが出ました



あおい会「飯田古意めいぶつ唄」



松尾東保育園「龍神の舞」



ハナハウオハナ



緑ヶ丘中学校合唱部「日々、Hail Holy Queen」



いくつになっても飛びます



豊文会松尾教室「松尾村歌」ほか



代田獅子・囃子保存会



決めポーズで喝采



サブニュマ「アフリカントイコダンス」



クオリティーの高さに感動！



松尾コーラス「丘よ、谷よ、歌声よ・川の流れるように」



上溝こども獅子舞保存会「数え唄・大社囃子・宮神楽」

松尾図書館

(公民館 2 階)
 開館日 水曜 午後 1～5 時
 土曜 午前 10～午後 5 時
 日曜 午後 1～5 時
 本のリクエストも受けつけています。

春の足音が日に日に高まり胸が高鳴ります。この時期の松尾の風物詩でもある、文化祭が今年も盛大に開催されました。

今年の講演会は、元プロ野球選手、スカウトで阿智村出身の鈴木照雄氏のお話をお聞きしました。神戸在住ながら、毎週末当地へ来て少年野球のご指導をされているとのこと。お話の中で印象に残ったことは、「当地域にも才能のある少年が大勢いるにもかかわらず、指導者とその芽を伸ばすことができず、やる気を失ってしまう少年がいる」との指摘でした。野球に限らず、若者が可能性を追求できるような見守り、支援していただくことが地域にとっても大切であると思いました。

運営にご尽力いただいた実行委員の皆様、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

2月6日・7日に松尾地区文化祭が開催されました。多くの皆様にご来場いただき盛大に開催できました事心より感謝申し上げます。また開催にあたり作品をお寄せいただいた皆様、ご参加いただいた関係団体の皆様、ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

今年度初の試みとして、オープニングに緑ヶ丘中学校吹奏楽部の皆様に演奏していただきました。多くの皆様楽しんで参加いただける文化祭を目指して今後も努力していきます。



講演を聞いて
 まちづくり委員会
 会長 小木曾博人



松尾地区文化祭
 を終えて
 文化委員長
 熊谷 吏花

*水引教室
 3月9日、松尾小学校4年生141人を対象に行われた。飯田水引協同組合から講師9人を迎え、淡路結びを実際に体験した。

*天竜川美化活動
 3月5日、参加者約300人。当初参加予定だった中学生は、インフルエンザ流行の影響により不参加となった。

ふれあい
 ひろば

育てた大豆で味噌の仕込み

2月20日松尾公民館で同館主催の「味噌作り講座」が行われた。昨年度の親子体験講座「まけるな農園」での味噌作りが好評だった



団子に丸めて空気抜き

ことから、今年度は一般にも対象を広く受講者を募った。講座は、大豆栽培から味噌の仕込みまで計4回で、最終回のこの日は「まめの会(毛賀)」の

らにしてラップを敷き、上から重しの塩を載せる。これを冷蔵庫で保管すると、秋には味噌ができてあがる。作業中、参加者から「なぜ

からです。塩を重しに使うのは殺菌効果があるから」といいねいに答えていた。最後に勝野公民館長から「味噌のできあがる10月を楽しみに待ちましよう」と挨拶があり1年間の講座が終了。参加者は仕込んだ味噌を各自持ち帰った。

会(毛賀)の会員5人が講師となり、受講者30人と味噌の仕込み作業を行った。仕込みは、前もって炊き込んだ大豆を潰し、塩と麴に混ぜ合わせ、まんべんなく混ぜ、空気が入らないように容器に詰める。表面を平

2月に仕込むの?」「塩を載せるのはなぜ?」と質問がある。と、「まめの会代表の塩澤みどりさんが「収穫は12月に行うが、収穫した大豆が一番美味しくなるのが2月だ話していた。

地域みがきが人を呼ぶ 第53回飯田市公民館大会

1年間の公民館活動の成果を確認し公民館のあり方を考える機会として、第53回公民館大会が2月21日飯田市公民館で開催された。冒頭で、長年公民館活動

に尽力した教育功労者の表彰があり、松尾地区は小曽玲子さん(代田区)小西淳子さん(代田区)齊藤好雄さん(常盤台区)角田禊治さん(新井区)が受賞した。

最後まで結果がわからないから 囲碁ボールがおもしろい!!

寒い季節の室内レクリエーションと、性別や体力などは関係なく誰もが簡単に楽しめる。松尾公民館では、平成16年に飯田市教育委員会からの勧めで、体育指導委員を中心に普及に努めた。以後高年齢クラブが積極的に取り組み、年々その活動域が



まさかの五目完成!

なり、今年も1月から2月までの間に上溝区、久井区、清水区、城区、八幡町区で大会が開催された。そのうち久井区では初めての試みで、区民70人が参加。未経験者が多い中、奇跡の「五目」が完成した。

供からお年寄りまで、性別や体力などは関係なく誰もが簡単に楽しめる。ゲームのルールも簡単で分かりやすく、激しい動きも必要ないため、怪我をする心配も少ない。また最後の一打で結果が逆転することもあり、緊張感を持った試合となる。そのため、多くの分館で冬の室内レクリエーションの定番と

広がっている。ゲームのルールも簡単で分かりやすく、激しい動きも必要ないため、怪我をする心配も少ない。また最後の一打で結果が逆転することもあり、緊張感を持った試合となる。そのため、多くの分館で冬の室内レクリエーションの定番と



勝利の瞬間「やったね」



小田切徳美氏

「地域みがき」のすすめくこれからの地域づくりを考えるをテーマとした基調講演で講師の小田切徳美氏(明治大学農学部教授)は、地域みがきとは人材が活躍できる地域づくりである。過疎化とは、人々が地域の課題に向き合わず、やろうとする気持ちが薄れ諦めることであると話した。また地域みがきを進めている地域にこそ若者たちが興味を示し、田園回帰(都市からの移住・定住の動きが活発化している)傾向が表れているとし、この講演を、持続可能な地域を創造するため

の取り組みについて考える機会とした。今回、情報交換を目的とし、6分科会が設けられた。「思いをつなぐ地域文化」をテーマに第2分科会に参加した立命館アジア太平洋大学3年生の井上真穂さん(福岡県出身)は、「自分の地元では、公民館は年寄りの集まりというイメージだったが、昨年フィールドスタディに参加して飯田市の公民館は住民が主体的に活動している所と知り、興味を持ったので今回参加した。公民館活動が活発な理由を探してみたいと思う」と話した。第3分科会では、「支え合う心豊かな暮らしのススメ」

と題し、一人ひとりが生きがいをもって暮らすヒントを考えた。竜丘の「大人の学校」からは、高齢者を家庭から地域社会に呼び戻し生涯教育・生きがいづくりの実践の場につなげている事例が、上久堅の「食工房十三の里」からは、JA空き店舗を利用した地元住民へのお弁当配達サービスの取り組みの事例が、それぞれ報告された。いずれの発表からも心豊かに暮らすには、共感し合い必要とされているという実感を得られていること、安心できる居場所づくりがなされていること、誰かのために少しづつ自分の時間を持ち寄る機会となった。

また、昨年度区民から電子ピアノの寄贈があり、区民有志による「お披露目ミニコンサート」で披露した。始めに小学6年生窪田珠梨さんの演奏で「AKB48」365日の紙飛行機、同学年の小松菜月さんがショパン「ワルツ」、続いて高校生富樫歩実さんと一般の康野千秋さんが連弾で「軍隊行進曲」を発表。最後に康野公則分館長の指揮で「花は咲く」を来場者全員が合唱しミニコンサートを締めくくった。

共に学ぼう

日中文化交流

1月31日、日中文化交流会が常盤台集会所で開催された。

常盤太鼓の演奏で華しく幕が開いた後、市民の関心のある特殊詐欺防止の寸劇とマイナンバー制度の説明があった。

寸劇では、飯田市内であった事例を基に、騙されないとう心して人に対して現金を振り込ませようとする犯人の話しがリアルに再現されていた。マイナンバーについては、中国語の字幕付きビデオを



学んだ後は、もちつき大会

新井区文化祭が2月13・14日、新井区防災コミュニティセンターで開かれた。個人からの約50作品、団体からの約60作品が展示され、来場者の目を惹きました。新井区は芸能祭と文化祭



花は花は花は咲く〜♪

新井区 今年もミニコンサートも

また、昨年度区民から電子ピアノの寄贈があり、区民有志による「お披露目ミニコンサート」で披露した。始めに小学6年生窪田珠梨さんの演奏で「AKB48」365日の紙飛行機、同学年の小松菜月さんがショパン「ワルツ」、続いて高校生富樫歩実さんと一般の康野千秋さんが連弾で「軍隊行進曲」を発表。最後に康野公則分館長の指揮で「花は咲く」を来場者全員が合唱しミニコンサートを締めくくった。

森本武彦文化部長は、「今回のコンサートを皮切りに、新井区においてピアノを利用した文化・教養活動が高まればと願っています」と述べていた。